



PMSの技師たち。新進の技師2名が加わり、共同調査に向けてトレーニングを開始。11月から加わっていたが、いきなり現場で働かせている。一人は古参職員の長男（24歳・ダラエヌール出身）、もう一人は31歳・アチン郡出身。若いが何れも好人物。専門は建築の方だったが、水・灌漑の仕事に興味があって応募。彼らの村はいずれも酷い干ばつ地帯。2017年1月29日





着々と進むガンバリ排水路。X0 橋が要衝で、隣接してシェイワ排水路、チュクレイ排水路が注ぎ込む。2017 年 1 月 31 日





X0 橋に隣接するシェイワ排水路。シェイワ用水路には昔から排水路がなかったらしく、湿地化の原因の一つだった。2017 年 1 月 31 日





このような籠組みが延々1.8 kmつづく。水路の中では異色。主力だったブディアライ組が退き、現在、現地組が頑張っている。石材はカチャラ村から輸送している。職員のシェールワリが同村出身で、石組みを指導している。2017年1月31日





構造物は職員の石工（大工）カーヘルが指導。排水路網 30 数か所の橋と水道橋すべてを手掛けた猛者。2017 年 1 月 31 日





よみがえる湿地。チュクレイ村。約 6 割は、以前の PMS の仕事（2009～2015 年）で回復していたが、今回は完全復旧。話によれば同地に小麦がまかれたのは 30 年ぶりだという。2017 年 1 月 31 日





ミラーン堰に隣接して建設中の訓練所。実質的には現場監督らの宿泊所で、以後ここを中心にカマ、ベスード、シェイワ、カシコート、シギらの取水堰の維持にあたる。2017年1月31日

